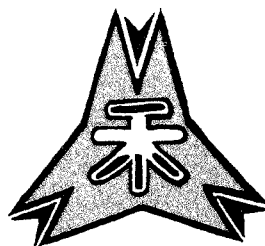


シリーズ

学校紹介



禾一小

広報では、今月号から毎月市内小中学校を紹介していきます。

最初は、禾生第一小学校です。禾生第一小学校は、都留市古川渡五五三番地（海拔四一〇m）に所在しています。

児童総数は三八四人（57年7月1日現在）で、市内八つの小学校中三番目の規模を誇ります。

学校敷地は、西側を国道が走り南側は県道に面している非常に危険な場所に位置しています。

また、通学圏も範囲が広く、月見ヶ丘方面の児童は電車通学、与縄方面はスクールバスと、通学手段も様々です。

このように児童を取り巻く交通事情が芳ばしくないことから、学校でも、PTAでも、早くから子どもの交通事故防止には強い関心を寄せてきました。

この地味な努力が実を結び、学

校では昭和五十年一月に、交通安全教育優良校として全国表彰されています。

この表彰が起爆剤となって、全校をあげて交通安全に力を注いでいこうと、昭和五十四年五月十八日に、禾生第一小学校では、「交通少年団」が結成されました。今回は、この交通少年団の活動にスポットをあててみました。

たしかめて

また、たしかめて

ハイ横断

禾生第一小学校

のあゆみ

校長 戸田昭寿

禾生第一小学校は、遠く明治六年（学制発布の翌年）郡立第一小学区第四十五番中学区第一番公立小学校谷村小学校分校として、中島

の東陽院庫裡を校舎として開設されました。

以来今日まで、一一〇年の永い厳しい歴史の中において、禾生学区（旧禾生村）の学問の府として数々のよき伝統を培いながら今日に至りました。

この永い厳しい年月に、多くの先輩達を輩出しながら築いてきた美しい校風・尊い教訓・素晴らしい伝統を次代の人々に継承することが、今日の私達に与えられた使命だと考えております。

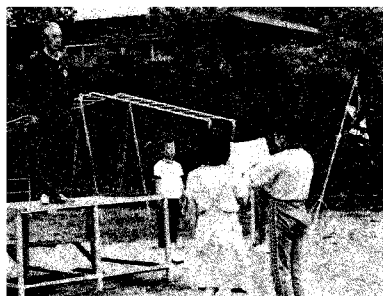
特に昨今、青少年の非行化対策等が全国的な関心事となっており、ましたが、本校におきましては、早くから「全人格的人間形成」に着目して、これら指導を実施して参りました。

家庭との密接な連携の中に、児童の「しつけ見直し」を「核」とした生活学習や家庭教育研究会等

都留警察署、地元の交通安全協会などの協力をえて、自転車教室を行っています。



毎月十八日は、交通安全宣言の日として、「私たちの誓い」を全校生徒が朗読し、誓いを新たにします。



が着々とその成果をあげております。また、児童の健康と安全を願う「安全宣言校」としての誇りを維持するよう、日々努力いたしております。